

赤潮情報第34号

（八代海：シャットネラ属 警報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

シャットネラ属が最大120細胞確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、本県が調査したところ、シャットネラ属が海水1mL 当たり最大120細胞、確認されました（詳細は下図を参照）。今後の気象、海況によって、増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

本種は極めて有害で、海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死することがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意し、餌止め（養殖魚の活動を静めるため）を行うとともに、状況に応じて赤潮駆除剤散布、生簀の足し網・沈下・移動、緊急出荷（生簀の中では、養殖魚介類のへい死が避けられない場合）等の対策を行ってください。

また、カレニア ミキモイが最大10細胞確認されました。注意報発令基準（海水1mL当たり 100細胞以上）未満ですが、今後の気象、海況によって、増殖するおそれがありますので、警戒が必要です。

※数字は水深0m、2m、5m、10m、20m、30m層の海水1mL当たりのシャットネラ属の細胞数です。

（ ）の数字はカレニア ミキモイの細胞数です。

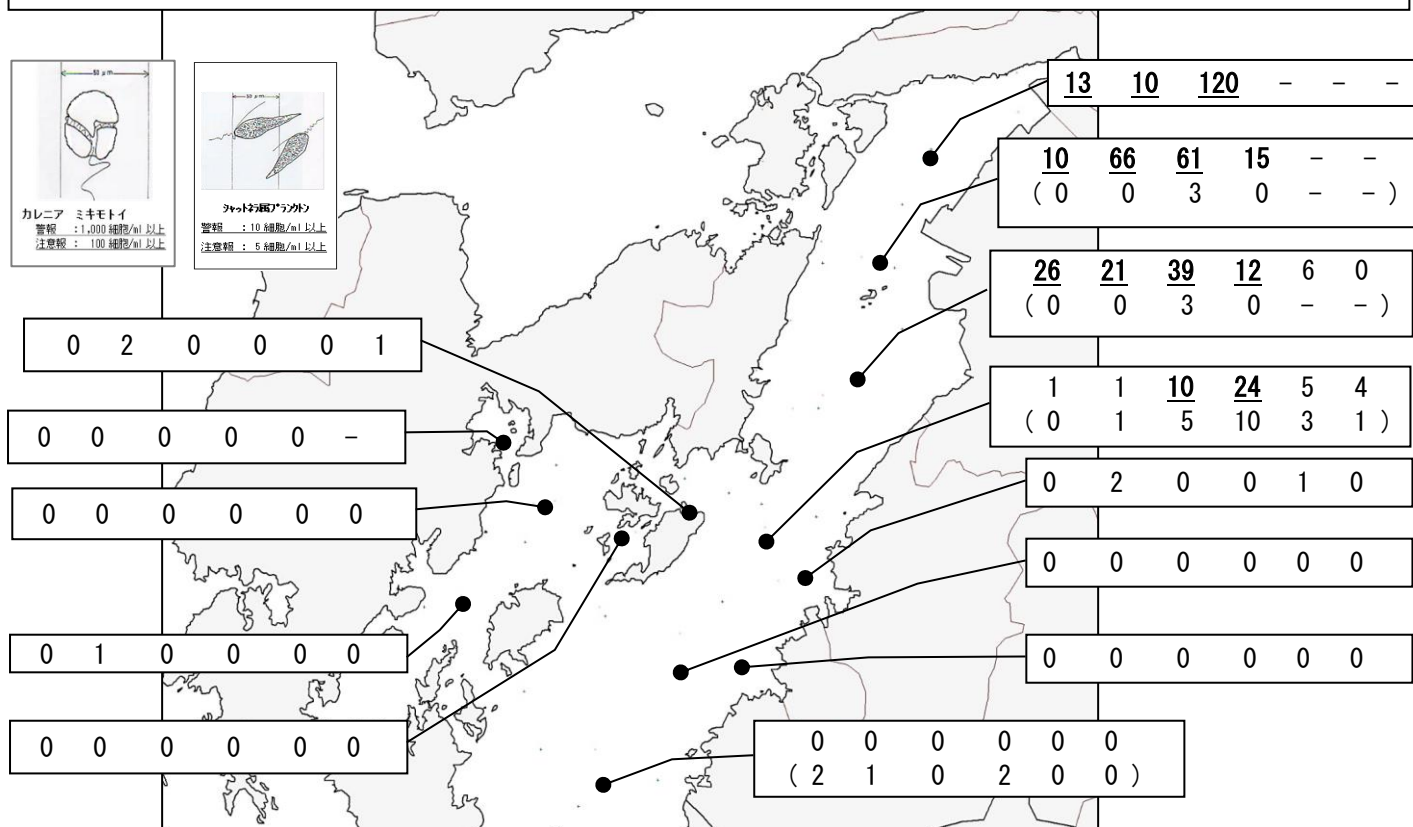


図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/264971.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/distributionInit.php?qkaiku_id=1

赤潮情報
ホームページ



赤潮ネット

